

# 生徒視点で学センを変える ～総合学科美術デザイン系列とともに～

山形県 山形県立鶴岡中央高等学校

## 基本データ

所在地	鶴岡市大宝寺字日本国 410
児童生徒数	739人
教職員数	81人
蔵書数	40,767冊
年間貸出冊数	1,783冊

## テーマ・活動のねらい等

【テーマ】環境整備

【活動のねらい】

- 総合学科美術デザイン系列で学ぶ生徒たちは、美術やデザインの力で問題解決する力を身につけており、実際に作成したものが日常のなかで活用されることを見ることができかねらい
- 作成したものを利用しながら、改善点を考えることでデザインがどのように活かされるのかを見ることができかねらい

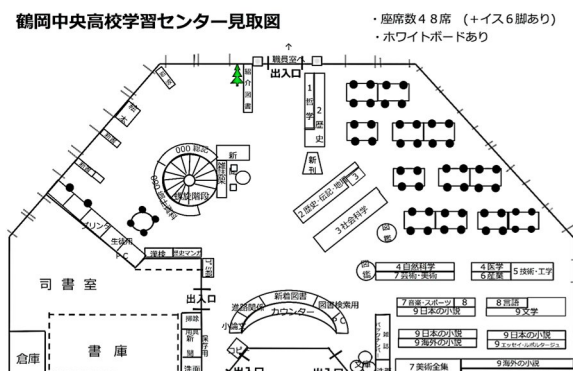
## 取組・活動の概要

- 授業において、学校図書館のレイアウト変更や館内掲示物や案内サインをデザイン、作成し環境整備を行った。
- 総合学科美術デザイン系列と学習センター（以下学セン）が連携し、授業を活用して図書館リニューアルの環境整備を2回にわたり行った。

### 【第1回環境整備】

- 平成23年度に3年次「空間デザイン」の授業で、生徒と共に館内レイアウトを検討した。
- 通路が併用されている図書館のため、授業中や休み時間の学習・読書の際、通行する生徒・教職員の視線が避けられず落ち着かない状態であった。また、建物の構造上、書架の設置による死角も多かった。
- そこで「明るく落ち着いた学セン」、「本が探しやすく死角のない学セン」を基本構想に、数パターンの図面を引き、模型を作成して、当時の校長・教頭・学セン担当にプレゼンを行い現在の配置とした。

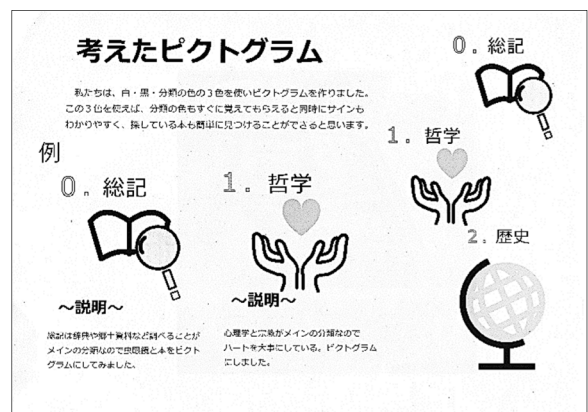
鶴岡中央高校学習センター見取図



鶴岡中央高校学習センター見取図

### 【第2回環境整備】

- 令和元年度、「ビジュアルデザインⅡ」を受講する3年次生と学センが共同で、「本を探しやすい学セン」を目指し、館内サインをデザインした。
- 利用者である生徒にとってどのようなデザインが目立つのかなど、受講生とともに考えた。
- 学センは高い天井と白い壁の建物であることからシンプルにすることで見やすい館内掲示になるのではと考えていた。
- 生徒たちのプレゼンで、「現状では殺風景」「彩りを加えてシンプルに」「情報量が少なくて表示が見づらい」など率直な意見があり、これらを聞きながら作成を進めていった。
- PCのソフトを使ったデザイン、大型プリンターの活用などで本を探しやすい館内サインを作成することができた。



生徒がプレゼンしたピクトグラム

### 取組・活動の工夫や特徴

- リニューアルを行った2回とも、生徒がアイデアを出し、それをプレゼンする形で実施した。
- 他の生徒のプレゼンの意見も取り入れながら、館内サインや見取り図などを作成し、最終的には作業を受講者全員で行い活動することができた。
- 平成30年度に美術デザイン系列は、校内のサイン化計画を実施した。本校は構造上の問題もあり、来校者が配置図のみでは校内を移動することが難しく、学校全体に案内サインを作成した。そのノウハウを活かして図書館内のサインを作成した。
- 今回は予算が僅少であったが、美術デザイン系列の知識と校内の機器を利用することで実施することができた。

### 取組・活動の成果や今後の展望

- レイアウト変更後は、死角が減ったことで利用のマナーが向上した。
- 館内サインを利用者の視点で作成したことで資料が探しやすくなった。
- より図書資料を活用してもらうため、PCでの図書検索のためのメモ用紙を配置するなど、利用の促進に取り組んでいる。
- 作成したサインについては、経年劣化が考えられるのでケアにも取り組んでいく。

